

令和7年度市民健康づくり推進協議会 会議録

日時 令和7年10月23日（木）午後1時30分から午後3時00分まで
目的 令和6年度の健康課の事業報告と令和7年度の推進状況について
場所 平塚市保健センター 2階健康学習室
出席者 小野田委員、小林委員、水島委員、大草委員、石原委員、三觜委員、宮崎委員、
大野委員、岡田委員、阿川委員、富田委員（計11名）、事務局
欠席者 倉田委員、雑賀委員

以下、主な内容

- 令和7年度から委員が2名変更となったことの報告と、変更となった委員の紹介と新委員からの挨拶。
- 議題「第3次平塚市健康増進計画の進捗状況」を事務局から資料説明を行った。委員から次のとおり、意見があった。
 - ・2025年8月頃に血圧学会が作る診断基準等が更新されているのは知っているか。
 - ➡ 平塚市では、把握している。更新前の基準と今回提示された基準内用に大きな変更はないと認識している。新基準を踏まえた普及啓発、高血圧予防を推進している。
 - ・ライフステージとライフコースアプローチと似たような言葉が出ているが、「ライフコースアプローチ」という言葉の理由や背景を教えてください。また具体的にどこに関与しているのか。
 - ➡ ライフステージは世代ごと（妊娠期、胎児期、学童期、青年期等）と言い換えられ、その世代ごとへの働きかけをしている。ライフコースアプローチは、健康日本21という国の基本的な計画に平塚市もならい、それぞれの取り組みに工夫をして組み込んでいくとしている。
 - ・運動について、ナッジ理論を活用しながら、自然と運動してしまうような環境づくりを進められると良いと考えるが、今後そういったことを検討しているか伺いたい。
 - ➡ 階段に上った分の消費エネルギー等が書いてある、という身近なところから検討できると考えている。また、そういった環境づくりを推進する団体を後援する等の検討を行う。
- 議題「令和7年度の保健事業について」を事務局から資料説明を行った。委員から次のとおり意見があった。
 - ・「ハイリスク等妊婦に対する遠方の分娩（健診）施設への妊婦健診時における交通費及び宿泊費助成事業」について、事前相談ができるようなハイリスク妊婦とはどういう方が使われるイメージなのか。
 - ➡ 平塚市内の産科を受診し、主治医から専門の医療機関を紹介された場合を想定している。診断名の指定はなく、主治医の判断になるかと思われる。例えば多胎妊娠や母体や児の疾病等により、出産自体に通常よりリスクを伴う場合を想定。横浜の医療機関等を考えているが、東京も対象になる。
 - ・高血圧の予防等重点的な課題に対しての働きかけについて、以前総合公園で実施していた「健康フェスティバル」ような、大きなイベントを今後実施・継続していくことはしないのか。
 - ➡ 第3次計画は令和6年度から施行されたため、平塚市の課題や計画策定されたことの周知のために令和6年度は健康課主催の大きなイベントを2回実施した。平塚市の健康課題の周知はまだできていない部分もあるため、今後もイベント等を含めた実施検討を行う。
 - ・イベントの会場について、アウトレットやスーパー等を活用していけると良いのでは。
 - ➡ 健康課だけでなく、他のイベント等と協力して実施できると目につきやすい。今後はそのような状況も検討しながら周知をしていきたい。

以上